

平成25年度事務事業評価及び特定分野評価（補助金）
に係る改善計画書

事業名	二次予防事業費				
所管課名	高齢介護課	課長名	内藤 和男		
事業の目的と実施内容					
目的	○65歳以上の高齢者で特に介護予防が必要な方で要支援、要介護状態になる可能性の高い高齢者（二次予防高齢者）のうち、運動器の機能低下及び低下の可能性のある者に対して、運動指導を行うことにより自立した生活機能を維持し、QOL（生活の質）を向上させることを目的とする。 ○介護予防をより効果的にするために、「基本チェックリスト」提出者で、二次予防高齢者又は転倒に関する項目に該当がある方を対象に体力測定を実施し、その判定結果に基づき、対象者の運動機能に適した指導を行うことで、継続した運動習慣を身につける。				
内容・方法	二次予防高齢者を対象とした、運動器の機能向上を目指し、運動指導を行うことにより、自立した生活機能を維持し、QOL（生活の質）を向上させるためのシルバートレーニングスクールを実施。スポーツドクター等との連携のもと、健康運動指導士等専門職の派遣による、医学的体力チェック・カウンセリングを始め、運動プログラムの作成・実施し、評価までを行う。				
1 評価結果及び町の最終方針					
自己	改善して実施する	1次	改善して実施する	2次	—
今後の方向性に係る意見等（最終）		町の最終方針			
効率性の評価がCとなっているのは、平成24年度から一次予防事業に重点を置いた結果であり、効率性が悪化したことによるものではないと判断する。ただし、周知方法の見直しに加え、対象者が参加しやすい実施方法について検討すること。		平成25年度から、広く対象者に周知するために65歳以上に実施される基本チェックリスト回答者に、二次予防事業の案内を送付した。また、新たに開設された健康プラザを拠点とした二次予防事業を展開し、参加者の意見等を取り入れながら、参加しやすい実施方法を検討していき、平成26年度事業から適宜反映させていく。			
2 町の最終方針を実施するための具体的な方法					
項目名	時期(期限)	具体的な改善等の内容			
町民周知	既に実施	広報紙等を用いて周知案内を行う。			
改善内容の検討	各教室終了後	参加者の意見等を聞きながら、参加しやすい教室を目指し改善を図る。			
予算請求	H25.12	改善内容に合わせた予算請求を行う。			
町民への周知	H26.4	制度案内及び広報誌などにより周知案内を行う。			
新事業の実施	H26.4	事業を開始する。			
3 改善後の事業が目標とする成果					
指標の名称 ※原則として評価時と同一	単位	基準年度 (H25)	H26	H27	
参加延べ人数	人	900	920	940	
目標とする成果 の設定理由	二次予防高齢者の運動器の機能低下を運動指導等により、自立した生活機能を維持し、生活の質を向上させる。				
4 経費等の見込み					
		H25	H26	H27	
事業費（予算） 単位：千円		9,206（当初）	10,046（一次）	10,046	
概算職員数 単位：人		0.160	0.160	0.160	

